

本県の技術 販売窓口

有機EL照明の製品

県は7日、山形市の霞城セントラル内にある「やまがた観光情報センター」に有機EL照明の販売窓口「Organic LED YAMAGATA」(有機ELプラザ)をオープンさせた。県内企業が製品化した有機EL照明を取り扱い、インターネットでも販売を開始した。県によると、常設販売窓口の開設は県内初。

販売商品はタカハタ電子(米沢市)東金工業山形工場(長井市)石沢製作所(山辺町)オーガニッククライテイング(米沢市)浅野製作所(長井市)の計9点。有機ELと白鷹町の深山和紙を組み合わせたあんどん、持ち運びが便利な間接照明や手元灯として利用できる

山形 霞城セントラル内に開設

ポータブルライト、患者の眠りを妨げない夜間巡回用ナースライトなど、本県

企業の技術力の高さを示す品ぞろえとなっている。これまで同センター内に

価格は2万円台〜30万円は有機EL製品の軽さや薄



県内で初めて開設された有機EL照明の常設販売窓口
山形市・霞城セントラル内「やまがた観光情報センター」

さ、光の具合や、発光ダイオード(LED)との特性の違いが確かめられる展示コーナーを設けていた。今回はこれに加え、県民生活に有機EL照明が取り入れられる契機にしようと常設販売窓口を開設した。

オープニングセレモニーで吉村美栄子知事が「県内企業の努力で、世界最先端技術の一つである有機EL製品が増えている。県民が触れ、購入できる場を設けた。市場の拡大に大きく前進すると期待している」とあいさつ。県産業技術振興機構の結城章夫理事長、県観光物産協会の佐藤嘉高専務理事と共にテープカットし、開設を祝った。県の委託を受けた県観光物産協会が運営する。営業時間は午前10時〜午後6時。